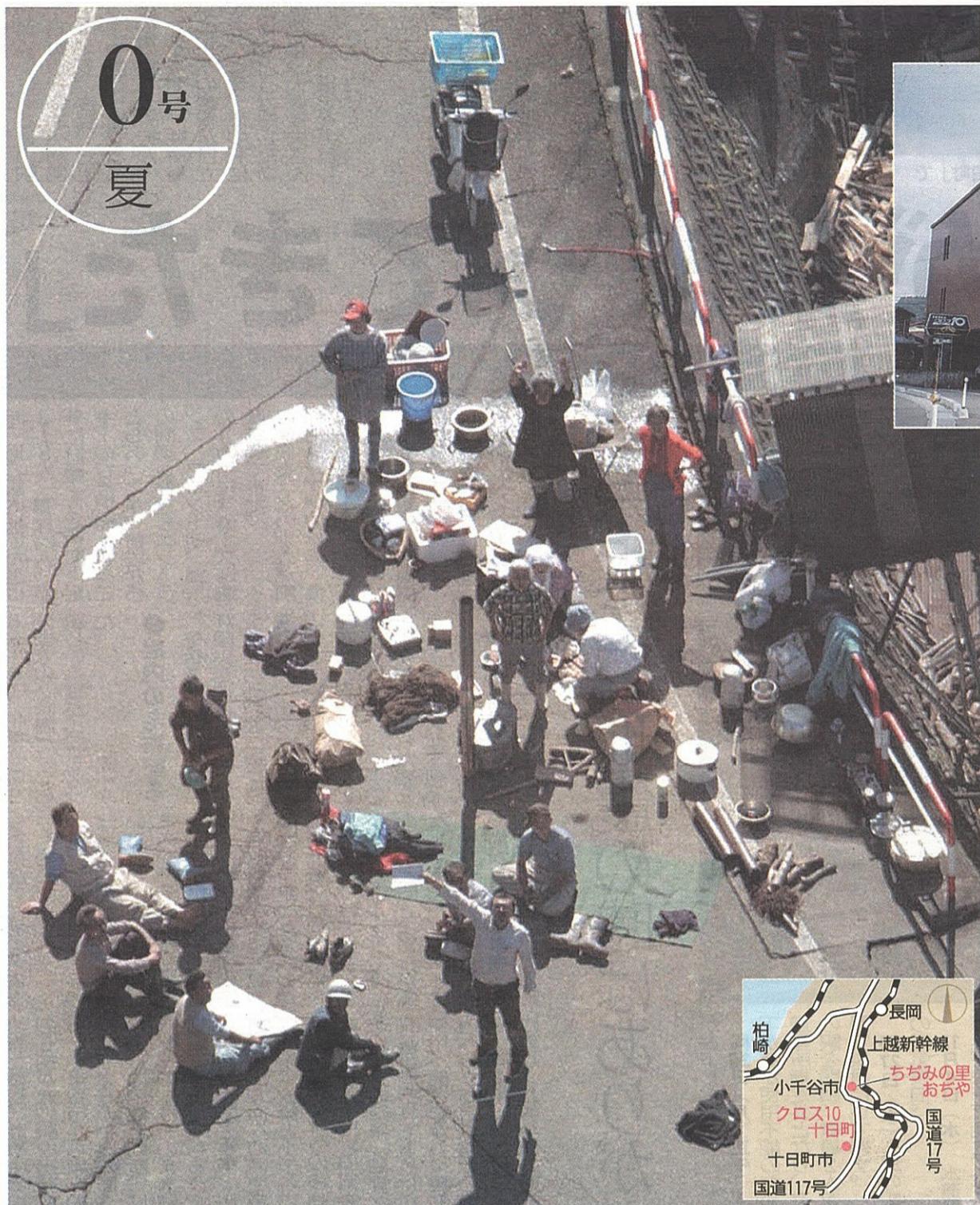


Route Press 21^{st.}

道 21 世 紀 新 聞

発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都港区虎ノ門4-1-1 虎ノ門パストラル内
Tel.03-3438-1724 Fax.03-5733-2782
Web <http://www.route-press21st.jp>



被災し、救援を待つ住民たち＝新潟県小千谷市の十二平地区で 04 年 10 月 24 日正午



避難所になった十日町市の道の駅「クロス10十日町」

「道の駅」。この言葉を発するとき、誰もが夢と郷愁の世界に誘われる。未知なる旅や、ふるさと続く街道沿いで出会う「温もり」を連想するからだろうか。土地との自然と産物を求めて、ゆったりとした旅は、のんびり。21世紀のドライブは、人間らしさを取り戻す旅なのだから。しない。そんな出会いを生む「道の駅」が今、災害時の支援拠点としても注目され始めている。昨年10月の新潟県中越地震（震度6強）で、被災住民の「癒しの場」となった震源地周辺の道の駅を訪ねた。

長岡市から国道17号を南へ車で約1時間半。道の駅「クロス10十日町」は市街地の真ん中にある。れんが色のシックな4階建てビル・十日町地域地場産業振興センターの1、2階が道の駅。隣接する観光・交流施設「キナーレ」とともにドライバーの憩いの場となっている。「グラットと来たのが10月23日午後5時56分。職員6人で手分けして約30人のお客様を外に避難

誘導し、火の元を点検した。強い余震が何度もあった。とにかく2次災害が怖かった」と事務局長の松井俊明さん(55)。電気がストップし街全体が真っ暗となつたが、クロス10は非常電源が働き、明かりがともつた。

道の駅が避難所に

新潟・中越地震でわかった地域拠点の大切さ

★お知らせ 月刊紙「道21世紀新聞」（愛称「ルートプレス21」）を、9月号から創刊します。「人と道の未来を考える」新聞で、全国の道の駅などで無料配布しますので、ご愛読をお願いします。ご意見など、気軽に寄せください。

NPO法人・人と道研究会

INDEX

1/2/3	地震・防災と道の駅
4/5	美しい道シニック・バイウェイ
6	I T S 愛知・豊田市の挑戦
7	団塊の世代 移住支援など検討会
8/9	地球博 足延ばして道の駅も
10	ファイト！道の駅の挑戦
11	話題の道の駅
12/13	農家レストラン
14	読者の声

「道の駅の明かりが、ドライブーや住民に何とも言えない安心感を与えた。」と頑張れたのです。IREは使用可能だった。から。阪神大震災で見聞「道の駅の復旧は今年5月末。道の駅の補修、修理が終わったの観光バスから降りた女性たちもホッとしていました」と当時を思い出す。倉庫にあったテントを駐車場に張って連絡場所とするほか、道路情報をインターネットで調べては掲示板に張り出した。とするほど、道路情報と施設本体の安全検査を終えた後、道の駅2階の広間は約1カ月、500人の被災者が生活する避難所にもなった。松井さんは「不思議ですね。自宅も被害を受け心配なはずなのに、職員みんなが駐車場の車に寝泊まりして困っている人の役に立ちます」とからまつた。

道の駅「クロス10日町」から歩いて20分。JRの駅に続く商店街にはペチュニア、サルビア、ラベンダーなど夏の陽光を返すよ

うに咲き、落ち着いた雰囲気の店が並ぶ。古風な趣にひかれて入ったそば屋さん。流れているのは70年代のメロディー。郷愁を呼ぶオカリナの音色が、名物そばの味にピッタリとからまつた。

15面に北海道ラーメンセットプレゼントとクロスワードパズル



専務理事 齋藤 章一さん

うれしい東北の素朴なたずまい

—2007年から団塊の世代が定年の季節を迎えて、大量の退職者が出現します。高齢層の第二の人生への歩みは今後ますます加速化し、当の高齢層はもちろん社会全体がどう対応するか新しい局面を迎える予定です。

今、退職者が都市から田舎へ移り、新しい暮らしを始める動きが顕著になりますが、これは都市住民にとって新たなライフスタイルの確立です。農家民宿、農園への交流は、農水産物販所、農山漁村など、田舎ならではの水景

交換がいまほど求められる時代はありません。交流の核になっているのが道の駅です。農山漁村にとって、新たな発展のチャンスです。農山漁村と都市との土地区分は、まさに新しい局面を迎える予定です。

—農山漁村の「まん



渋谷文枝さんのレストランの建物は江戸後期の建築

大切にしたい旬の味

今、移り、新しい暮らしを始める動きが顕著になりますが、これは都市住民にとって新たなライフスタイルの確立です。農水産物販所、農山漁村など、田舎ならではの水景

「まちむら交流きこう」(財団法人・都市農山漁村交流活性化機構)

道を走っていて大きな楽しみが、農水産物の直販所。道の駅になくてはならない看板だ。野菜や魚は、みずみずしくキラッとして、その土地の人の顔と暮らしが見えてくる。各地の直販所は大盛況だ。

埼玉県花園町のJA花園農物直販所。国道140号に面し、直販所は毎朝9時の開店前から込み始め、土日や祝日は混雑だ。トマト、ジャガイモ、キャベツなど豊富な季節野菜や果物などほか、生花、鉢木など多量の品ぞろえが評判だ。

主婦たちが車のランクによらず、地元の食を食べて、元で食べる「あると嬉しい」の。でも、他にも營業は昼食だけのパートンの「香園」は、明治元年創業は昼食だけのパートンで、慢の手料理に腕を振るうのだ。

—農山漁村にとっては都会人にとっては大変な魅

力ですが、これが食文化として受け入れられています。日本農業の歴史は、まさにこのから農家レストラン、重視されます。食材が新鮮で美味、本物の味で食べられるようになっています。

—食は、質がますますオーベルジュなど、田舎の良さが一層認識され、空気、風土なども一体となつて、食の質は高まると思い

たとえば、「おじさん」の名前が付いた野菜を探して買うんだから

—この直販所は83年、JAの組合員から「直売所を開きたい」という声があがっており、現在は野菜と果物農家約360人が出荷。直販所入り口の黒板

—道の駅は単なる駅で、山村は何が地域ブランドか

しっかりと認識し、長期的に実施し、品質の維持管理

—道の駅の農水産物直販所は、地域特産物の宝庫500ヶ所直売所実態の解説付き

—道の駅の農水産物直販所は、地域特産物の宝庫500ヶ所直売所実態の解説付き

—道の駅の農水産物直販所は、地域特産物の宝庫500ヶ所直売所実態の解説付き

—道の駅の農水産物直販所は、地域特産物の宝庫500ヶ所直賣所実態の解説付き

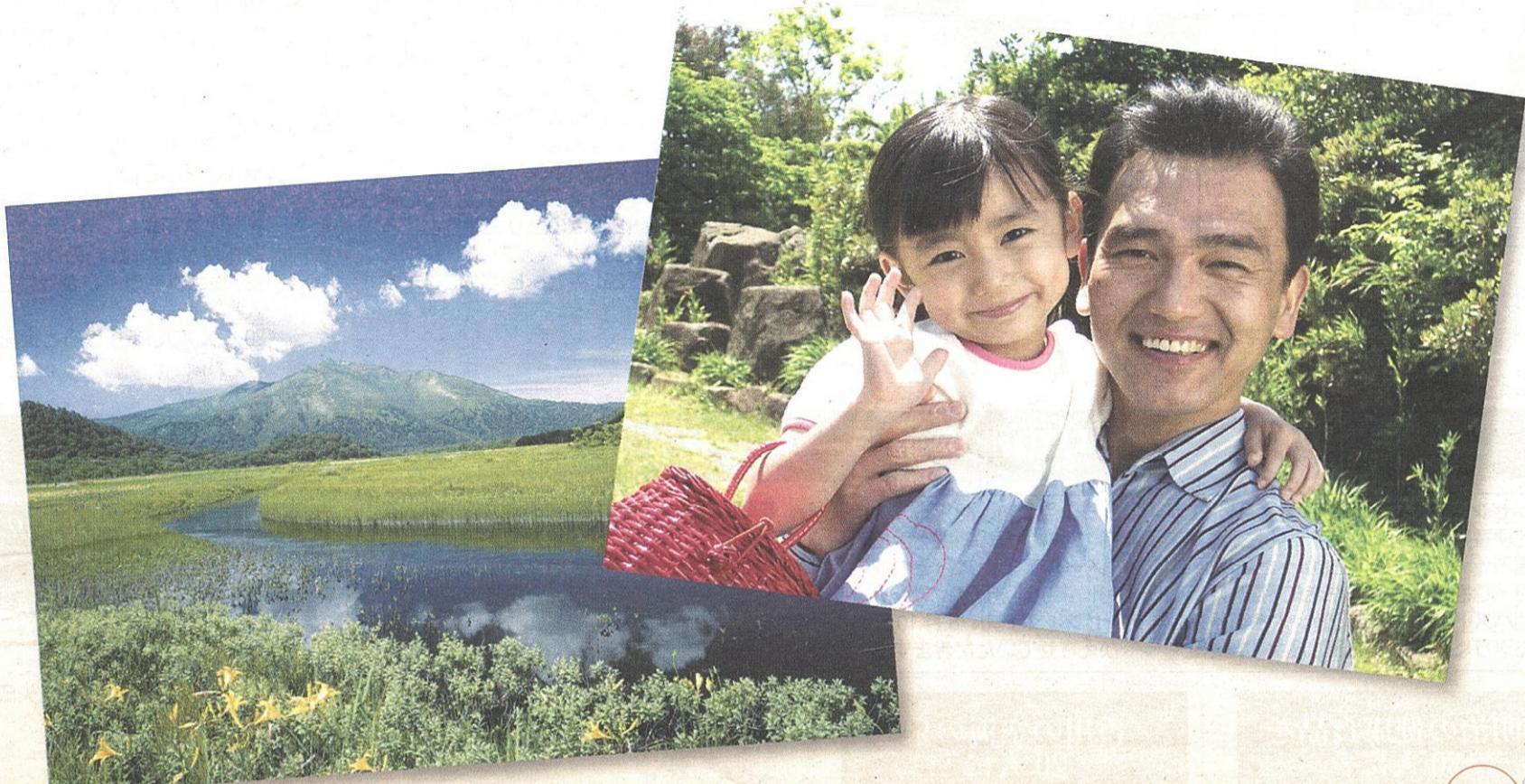
Route Press 21st.

道 21 世 紀 新 開

発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都港区虎ノ門 4-1-1 虎ノ門パストラル内
Tel.03-3438-1724 Fax.03-5733-2782
Web <http://www.route-press21st.jp>

Kodak

プリント派のためのデジタルカメラ、誕生。



旅の写真は
すぐプリントしたい――

コダックの<V550>と<V530>は、
そんな人たちのために誕生しました。
撮ったらプリンタードックにのせるだけで、すぐにプリント。
しかもコダックだからできた、写真そのままの高画質。

プリント派におくる、新しい提案です。



V530 スモール・ビューティーモデル



V550 フルスペックモデル

Kodak EasyShare V550/V530

Zoomデジタルカメラ

□どの角度からでも見やすいワイドアングルモニター □有効画素数500万画素 □光学3倍ズーム □内蔵メモリー搭載
【プリントのための充実機能】●トリミング機能 ●赤目軽減ソフト ●動画プリント機能

**超カンタン
のせるだけプリント**

- 1 撮って
- 2 のせたら
- 3 すぐ写真



「これならできる」

98%



※当社調査(20~60代男女を対象)において、「このシステムなら私にも

プリントできそう」と答えた人の数をもとにしています。

パソコン不要、ケーブル不要!

Kodak EasyShare
プリンタードックシリーズ3 (別売)

【超カンタン・のせるだけプリントが
体験できるホームページ】

www.nosepuri.jp

■商品情報 コダックホームページ www.kodak.co.jp

お問い合わせ先 コダックデジタルサポートセンター ☎ 0120-088159 / 03-5540-9002 9:30~17:30
コダック株式会社 〒104-0033 東京都中央区新川2-27-1 ※掲載のURL／フリーダイヤルは、携帯電話、PHSからのご利用はできません。

●掲載商品はすべてオープン価格です。●画像はすべてイメージです。